



芝商進路便り vol.3

新潟県立新発田商業高等学校

進路指導部

令和7年7月25日発行

例年よりも早く厳しい暑さがやって来て、毎日猛暑の中での学校生活となっていますが、三年生にとっては、いよいよ人生の重大な選択をする時期を迎えます。

進学では、今年度の指定校一覧もほぼ取りまとめ、教室や廊下に掲示されています。また就職では、求人票しの閲覧や応募前職場見学が始まりました。進路ガイダンスやHRを通じて進路意識も高まっていることと思います。

7月中旬から三者面談も実施されています。保護者、担任とよく話し合い、よく考えて進路を決断してください。焦らず、あきらめず、自分の目標を達成してください。大事なことは努力することです。さあ、皆さん、それぞれの進路実現に向けて勇気をもって立ち向かっていきましょう。

3年生の夏休み

3年生が夏にやるべきことです。

就職者がすべきこと

- ① 応募前職場見学、企業調べ
- ② 提出書類の準備（特に履歴書の「志望の動機・アピールポイント等」をしっかりと考える）
- ③ 面接練習（何回も練習することが必要）

進学者がすべきこと

- ① 学校見学（事前予約が必要、オンラインでの参加が可能な学校もある）、学校調べ
- ② 出願書類の準備（志望理由書、修学計画書、活動報告書など）
- ③ 入学試験の対策（小論文（要約）の練習、プレゼンの準備、面接練習、学科試験対策など）
- ④ 募集要項の準備（指定校以外は自分で手配する）



【指定校・指定求人の日程】

- ◆ 7月29日（火） 国公立推薦・指定校申込用紙（様式①）提出締め切り
- ◆ 8月1日（金） 希望企業カード（指定求人）提出締め切り
- ◆ 8月4日（月） 指定求人会議
指定校会議（大学・短大・専門学校の推薦者決定）

※指定校会議後から、指定校推薦決定者に「指定校推薦用募集要項」を配布する。

ボールペンを持参し、進路指導室に受け取りに行く。ただし混雑回避のために、8/5（火）以降の受け取りで構わない場合は、お盆明けや2学期以降に受け取る。

なお、県外私立大学の多くは8月下旬以降に募集要項が届くことが多いので、すぐに受け取ることができない場合もある。

【就職試験の日程】

- ◆ 8月 1日(金) 希望企業カード提出締め切り ⇒ 履歴書の作成を始める
- ◆ 8月20日(水) 就職応募書類の提出 ⇒ 点検、書き直しもあり
応募書類を提出したら面接練習を始める
- ◆ 8月27日(水) 就職応募書類の発送手続き
- ◆ 9月 9日(火)6限 進路ガイダンス③(事前指導)
- ◆ 9月16日(火) 就職採用選考開始 ⇒ 下旬から結果通知

※公務員の応募について

採用試験の申込期間や方法は、自治体によって違うので、頻繁にホームページ等をチェックして情報収集をすることが重要です。大切なのは必ず自分の目で確認することです。原則、自分で募集要項を取り寄せて、自分で申し込むことになるので注意してください。

「公務員採用試験」は9月の日曜日ごとに実施されます。

1週目	国家一般、税務など
2週目	裁判所、東京都、特別区(東京23区)、東京消防庁、警察庁事務など
3週目	警察官・女性警察官、市町村(新発田市・胎内市・阿賀野市・関川村・村上市・五泉市など)、新発田市広域消防、刑務官
4週目	新潟県(一般、警察事務、学校事務)、新潟市(一般、学校事務)、新潟市消防、海上保安庁、自衛官候補生など

「推薦」の意味をよく知ってください

学校推薦型選抜(指定校推薦や公募制推薦)で受験する場合でも、学校に届いた求人票で就職試験を受ける場合でも、必ず校長からの推薦が必要になります。この推薦という言葉の意味は、「この生徒は学校生活での態度や学業成績が良好であり、貴学(貴社)に入学(入社)した場合、期待に添え、能力を十分に発揮できる人物と思われるため、校長が責任を持って推薦する」という意味です。つまり、その人物に対する責任は校長が持ちます、ということです。

そして現在、多くの指定校推薦や求人が来ているのは、今まで芝商生の先輩達が努力を積み重ねて、期待に添える行動をとってきた結果であることを忘れないでください。つまり、みなさんの進路先での行動が、後輩達に影響を及ぼすことになるのです。

特に指定校推薦については、推薦基準を満たしているからと安易に推薦で受験すると考えるのではなく、「推薦」されるということの責任をよく考えて進路を考えて欲しいと思います。

1,2年生の夏休み

1・2年生は、夏休みも学習と部活動に励み、人間形成と高校生活の充実に努めてください。また、進路についてじっくり考える良い機会でもあるので、学校見学やオープンキャンパスへ積極的に参加をしてください。また、余裕があればボランティア活動などの社会貢献にも目を向けましょう。

皆さんにもやがて、必ず進路を選択する 때가 来ます。決して他人事ではありません。その時になって後悔しないように、「今できること」に全力で取り組んでください。地道な努力を続けることによって、自分では気づかなくても、何かしらの形で自分自身に良い影響を与えてくれるはずです。

早めの相談が合格への近道

進路先の家庭合意が早くからできている生徒の進路達成率は高いと聞きます。きっと安心できる支援を得た生徒は、目標に向かってより一層頑張れるということなのでしょう。そのため、家庭の会話にぜひ進路の話題が加わるよう意識して生活してもらいたいです。家庭内でいろいろな考えを話したり、聞いたりしていく中で、納得の進路に近づいていくのだと思います。

1・2年生が今、取り組むべきこと

① 「学習成績の状況」の目標設定

- ・ 通知表から「評定平均値」を計算してみましょう。
- ・ 自分の「評定平均値」の目標を設定しましょう。

※国公立大学を希望する生徒は、4.3以上を目指してください。

- ・ 定期考査はすべて65点以上（評定4.0以上）を目指して学習に取り組んでください。

※指定校推薦を希望する生徒は、進路資料室前に掲示してある「指定校一覧表」から、興味ある学校の推薦条件（評定平均値）を確認して、それを目標としてください。

② 「欠席」を減らす

- ・ 就職だけでなく、指定校の推薦条件にも欠席日数を設定する学校が増えてきています。「欠席」をしないということは、進路実現のための大きな要素となっています。
- ・ 規則正しい生活習慣を身に付けるようにしましょう。

※適正な睡眠時間の確保してください。

スマートフォンの使い方を考えましょう。

特に、夏休みに生活習慣を崩すようなことがないように注意してください。

③ 「特別活動」は前向きに取り組む

- ・ 部活動は継続して続けることが大切です。それにより競技力向上とともに人間性が養われます。
- ・ 「頼まれ事は、試され事」です。どのような活動にも意欲的に取り組み、楽しむ姿勢を持ちましょう。
- ・ 校外の活動にも関心を持ち、ぜひ積極的に参加してください。
- ・ 多くの人と交流を持って、幅広い人間関係を構築していきましょう。